
恋愛至上主義

不肖。

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋愛至上主義

【Nコード】

N8681F

【作者名】

不肖。

【あらすじ】

短い詩を載せていきます。詩に関する感想や意見、ぜひ聞かせてください。

【貴女の本音に用がある】

【貴女の本音に用がある】

飾った言葉を着重ねて、貴女は綺麗になってゆく。
自らを殺す代わりに、貴女は綺麗になってゆく。

女は美しさが全てだという。

厚い化粧の裏に秘められた貴女を、今となっては知る者はいない。

事実、貴女は綺麗になってゆく。

女は慎ましさが全てだと言う世の男達に、受け入れられようとして
いるのか。

若しくは、自分に自信が無いだけなのか。

貴女は綺麗になってゆく。

違う、違う、違う。

貴女は貴女なのに、貴女に見せる為に仮面を被る。

違う、それは貴女じゃない。

涙に濡れた仮面はもう良い。

男を魅了する美しい貴女はもう良い。

世間一般に言われる、上品な貴女はもう良い。

笑って、愚痴を零して、叱ってくれて、ヘマをする貴女が良い。
そんな貴女に恋をしたのだ。

貴女の本音に用がある。

【手を繋げば】 【夢籠】

【手を繋げば】

さあ、手を繋ぎましょうか。

新しい世界の始まりには、新しいふたりが必要でしょう。

さあ、夢を語りましょうか。

新しい日々の貴女は幸せですか？

貴女が笑うその横で、僕は笑っていますか？

貴女が見つめるその先に、僕はいますか？

思えば、実に長い遠回りをして来ました。

何しろ、色恋沙汰に乏しいふたりだったので、まるで割物を扱うかのような純愛でした。

傷付ける事を恐れ、踏入る事に迷う。そんなふたりでした。

僕は所謂、捻くれ者でしたので、参考書通りの言葉からは全く愛を見出だす事が出来ませんでした。

かと言って、大切に温めて来た言葉程嘘で塗固められたものはありません。

言葉とは時に、実に頼り無く移ろうものです。

僕が欲しかったのは、貴女のその体温でした。暖かな指先が僕の荒んだ心を包み、解すのです。

相手の未来を憂うならば成程、傷付ける事が必要でしょう。

相手の心を解すならば成程、相手の全てに踏入る事が必要でしょう。

良いじゃないですか。

生涯、人は傷付け合う悲しい生き物です。
相手を癒す為に傷付け合うのならば、良いじゃないですか。

さあ、手を繋ぎましょう。

言葉よりも、文字よりも、私達は感じ合えます。

新しい世界です。全てを超越したふたりで、良いじゃないですか。

【夢朧】

瞼に焼付く程、恋焦がれた夢があります。

それは、日常を謳っています。そんなに遠くない、未来の日常です。
そこでは僕は貴女の夫（或いは彼氏）と成って、貴女の側にいます。

「嗚呼、幸せだ」と僕が呟くと、貴女はまんまるな瞳をパチクリとさせるのです。

「どうしたの、急に」君は言います。

「なんでも無いよ」

そう、なんでもありません。

僕が欲しかったもの。夢にまで見た、何気ない日常の一幕。

【ハリネズミ】 【君の全てに成ってみてえもんだ】 【Postman】

【ハリネズミ】

小さな事で喧嘩をして、どうして分かり合えなかったんだろう？

「貴女の全てに成りたい」

そんな事、無理に決まっているのに。貴女の事を大切に思えば思う程、僕達の隔りは厚く高く成ってゆく。

「まるでハリネズミの恋みたいね」と貴女は言う。

傷付き、或いは傷付いて僕達は僕達に近付ける。傷付けなければ、碌に貴方の涙も拭えないなんて。なんて悲しい恋なのだろうと、貴女は僕の涙を掬上げてくれた。

「分かり合う」なんて、簡単じゃないのは分かっている。それでも僕達が求めるのは互いの全てであり、互いの温もり。

傷付くのならばそれでも良い。不器用ながらも愛していたと、最期に言えればそれで良い。

【君の全てに成ってみてえもんだ】

君の好きな食べ物。

君の好きな歌。

君の好きな映画に、

君の好きな人。

こんなにも君の事を思っているのに、君の事なんにも知らなかつ

たんだなあ。

嗚呼。

君の全てを知ってみてえもんだ。
好きな所も嫌いな所も、直して欲しい癖も昨日泣いた訳も。
君の全てを知ってみてえもんだ。

嗚呼。

君の全てに成ってみてえもんだ。
俺はこの通り、なんにもねえフザけた奴だけど。君の為に生きてみ
たいと思えたんだ。

嗚呼。

君の全てに成ってみてえもんだ。
君の全てに成ってみてえもんだ。

【Postman.】

I am Postman.

錆びた自転車をギコギコ漕いで。

Hello, my postman.

届けに来たよ。

貴女が泣いた辛い過去。

理由なんて知らないが、知っていなくて何が悪い？

貴女が捨てた遠い過去。

苦しみは分ち合えないけど、絆創膏を貼りに来た。

” My name is Postman!”

明るい色のペンキを持って来ました。

癒えない過去を画用紙にして、君だけの未来を描いてみてよ。少
し傷口に染みるけど、きつと楽しくなって来るから。

I am Postman .

錆びた自転車をギコギコ漕いで。

Hello , my postman .

届けに来たよ。

貴女が泣いた辛い過去。

理由なんて知らないが、知っていなくて何が悪い？
過去の事を全部忘れて、笑顔に成って何が悪い！？

" My name is Postman ! "

貴女が捨てた、貴女を届けに来ました。

部屋の隅で泣くのは止めて、君だけの夢を謳ってみてよ。みんなに笑われるだろうけど、きつと夢は近付いて来るから。

きつと僕達は気付いてたんだ。只、それを認めたくなかったただけで。

涙の過去は放り投げて、新しい未来を抱える準備をしなきゃ。

綺麗な仮面は叩き割って、本当の君を叫ぶ準備をしなきゃ。

さあ、声を合わせて叫ぶんだ。運命とか偏見とか差別とか何某とか、鬱陶しいモノ全てを越えて、捨てて、叫ぶんだ！

「過去はもう終わったんだ！」

" My name is Postman ! "

貴女が捨てた、貴女を届けに来ました。

部屋の隅で泣くのは止めて、君だけの夢を謳ってみてよ。みんなに笑われるだろうけど、きつと夢は近付いて来るから。

きつと明日が、近付いて来る筈だから。

I am Postman .

錆びた自転車をギコギコ漕いで。

Hello, my postman.

届けに来たよ。

届けに来たよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8681f/>

恋愛至上主義

2010年10月28日08時31分発行